

# かけはし

## 第八十四回国民スポーツ大会・第二十九回全国障害者スポーツ大会 2030年 島根かみあり国スポ・障スポ 自分を超える、神話をつくれ

一年に一度、都道府県持ち回りで開催される国内最大級のスポーツの祭典、「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」が、2030年、四十八年ぶりに島根県で開催予定です。  
※国民スポーツ大会は、2024年から現在の「国民体育大会」から呼称が変更されます。

この大会を象徴する愛称とスローガンを募集したところ、全国から四千件を超える応募があり、今年三月に愛称「島根かみあり国スポ・障スポ」とスローガン「自分を超える、神話をつくれ」が決まりました。

また大会のマスコットキャラクターは、島根県観光キャラクター「しまねっ



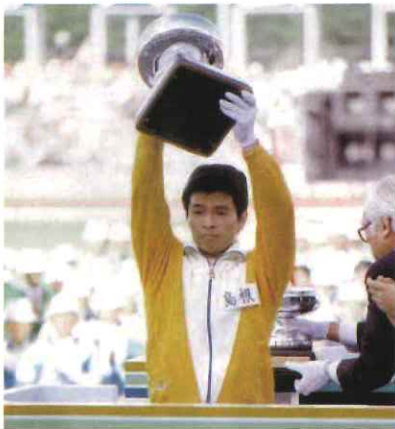
島根県立松江東高等学校書道部の皆さんの作品

こ」に決まりました。今後、これらを活用して大会の機運を醸成してまいります。

国民スポーツ大会（略称「国スポ」）は、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活



皇后杯を掲げる佐々木真理子選手  
くにびき国体では、天皇杯・皇后杯を獲得



天皇杯を掲げる阪本伸夫選手

を明るく豊かにすることを目的としています。正式競技、特別競技、公開競技、デモンストレーションスポーツで構成され、正式競技は、都道府県対抗で競技得点を競い、男女総合優勝に「天皇杯」が、女子総合優勝に「皇后杯」が授与されます。

また、全国障害者スポーツ大会（略称「障スポ」）は、身体・知的・精神障がい者の方が競技者として参加する大会で、正式競技とオープン競技で構成されます。競技を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

「島根かみあり国スポ・障スポ」では、全ての県民の皆さまに、それぞれの立場で力を発揮いただくとともに、大会を契機にスポーツを通して健康で心豊かな人と地域を創り、活力ある島根の実現を目指します。

皆さまの応援・ご協力をお願いします。

### 【お問い合わせ】

島根県環境生活部 スポーツ振興課  
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室

TEL: 0852-2216096

# 舞台の上の人・下の人

## 共に創った『オペラ「石見銀山」』の京都公演

2017年7月2日、鳥根県大田市で石見銀山世界遺産登録10周年の記念行事として開催され、県外からも多くの観客を誘い、多大な評価を得た創作オペラ『オペラ「石見銀山」』。

続く東京新国立劇場、東京文化会館での開催により全国的にも認められ、昨年には第4回松江ツーリズム研究会の「観光大賞」と、(一財)地域活性化センターが主催し全国のイベントから選ばれる「ふるさとイベント大賞」の「ふるさとキラリ賞」を受賞しました。

そんなオペラ「石見銀山」のこれまでの歩みをご紹介します。

2015年秋、大田市出身者の在籍する東京のオペラユニット「ザレジェンド」と地元女声コーラス



初顔合わせ結団式

グループ「花音」との懇親会の中で、石見銀山の歴史を題材にオペラを制作し、銀山の魅力を美しい音楽で発信しようという話が出て盛り上がり、銀山でオペラの題材となるストーリー探しが始まりました。

東京大田市人会の方からの発案により石見神楽の創作演目「於紅谷(おべにだに)」を取り入れた、世界初「神楽」と「西洋音楽」の共演『オペラ「石見銀山」』が決定しました。

地元コーラスグループを中心に賛同者が集い、その年の暮れには発起人会及び実行委員会が立ち上がり、翌年春には合唱団の一般公募、原作を元にしたプロによるシナリオの制作、夏には作詞・楽曲の制作が完成しました。

約2年の準備期間、実行委員は夢



公演風景

を追いつつ協賛金集めに奔走、衣装作りや炊き出し等に汗を流し、上で演じる人・下で支える人共に立派な初演を迎えることができました。

世界遺産登録15周年を迎える今年11月に京都劇場で開催するオペラ「石見銀山」関西公演は、当初からの実行委員の夢(願い)であり、ようやく叶う予定です。

また、同時に、オペラ「石見銀山」上演前には、京都駅前広場にて神楽も上演いたします。

### 【お問い合わせ先】

オペラ『石見銀山』実行委員会事務局

(株)シブナル内

TEL..0854-82-0170

(平日10時~17時)



神楽の一場面

# 「につぼんA級（永久）ぐるめの町」 「ぐるなび」との連携協定」町の食の魅力発信（西ノ島町）

西ノ島町は島根半島より北東に約60km離れた場所に位置し、盆に先祖の霊を海に送る「精霊船（シャーラぶね）」、900年以上続いている国の重要無形民俗文化財の祭礼「十方拝礼（しゅうはいら）」といった文化が残る歴史ある島です。



精霊船（シャーラぶね）

本町は、離島で四方を海に囲まれていることから、地域特有の動植物で形成された生態系が今も息づいており、鳥獣保護区に指定されている焼火神社では天然記念物のカラスバトも見られます。

また、アワビやサザエといった海産物も豊富にあり、日本で初めて養殖に成功した隠岐のい

わがき、離島から活きたまま届く活イカパックといった『食』資源にも恵まれています。

本町は邑南町、鹿部町（北海道）、都農町（宮崎県）の4町で構成されている『につぼんA級（永久）グルメのまち連合』に、平成30年の設立当初から参画しています。この連合の縁をきっかけとして、4月に株式会社ぐるなびと「食を通じた地域活性化等を目的とした連携協定」を締結いたしました。

6月からは総務省の地域活性化起業者（企業人材派遣）制度を活用して、株式会社ぐるなびから派遣される起業者と共に、本町の魅力の一つである『食』を主軸として取り組みを展開していきます。事例として、①新しい『食』の発掘や商品開発、②都市圏から西ノ島町への送客を図るために『食』と観光を掛け合わせた体験型コンテンツの制作支援、③『食』をテーマとしたふ



活サザエ2.5kg

るさと納税の活性化策などです。

今後は、飲食店情報サイト「ぐるなび」を始め、観光スポット・地域の食情報ガイド「ぐるたび」などのポータルサイトへの積極的な情報発信をおこない、



西ノ島町役場・株式会社ぐるなび 連携協定締結式

西ノ島町の活性化を図っていきます。県人会の皆さま、ぜひ西ノ島町へお越しください。

**【お問い合わせ先】**  
島根県 西ノ島町役場 産業振興課  
TEL：08514-6-1220

【大阪学生会館 新館長就任のお知らせ】

令和四年四月に長嶧佳則新館長が就任されました。



大阪学生会館新館長  
長嶧 佳則

【新館長より】

はじめまして、今年四月に大阪学生会館の館長に就任しました長嶧佳則と申します。三月まで益田市の高校に勤



務しておりました。三十三年間の教員経験を活かし、寮生の学生生活をサポートしていきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。

さて、当会館は北摂地域の高台にあります、まわりは閑静な住宅街です。北は太陽の塔、南は大阪の街を一望することができ、窓からのぞむ大阪の夜景は絶景です。当会館には寮生の自治会があり、寮生自ら規律正しい生活をおくっています。自主的に行動する寮生が多く、心強い先輩たちが何でも相談に乗ってくれます。もちろん、島根の言葉で。こうやって成長していくのだから、と感じる毎日です。今年は十七名の『しまねっこ』を迎え、四十二名でのスタートとなりました。どんな一年になるかとても楽しみです。

【自治会長より】



自治会長  
森脇 大輝

こんにちは、令和四年度大阪学生会館の自治会長を務めている、立命館大学経済学部三回生の森脇大輝です。昨年度に引き続き、今年度も多くの



新入生が大阪学生会館に入寮しました。私も入寮三年目となり、寮の中でも上回生の先輩方が減り、後輩たちが増えてきて、時間の経過する速さを痛感しています。

私が高校を卒業し大学に入学した二〇二〇年は、新型コロナウイルスによる感染症の影響で、社会が大きく変化した一年でした。大勢の人が集まるイベントは中止となり、世界がひっそりと静まりかえっているように感じました。私の通っている大学でも入学式は中止となり、大学の友達と初めて対面

で顔を合わせたのは、入学から半年後の九月末でした。長期に渡ってステイホームを余儀なくされ、パソコンに向かって話しかける日々。大学の同級生の中には、自粛期間中の一週間で誰とも会話する機会がなかったという人がたくさんいました。そうした状況の中で、学生会館は大きな支えとなりました。食堂や談話室に行けば先輩方がいて、そこでの何気ない会話のおかげで寂しさが紛れ、大きなストレスを抱えることなく生活できていたと感じています。

今年度からは大学の対面授業が全面的に再開し、各種中止となっていたイベントが開催されるなど、少しずつではありますがコロナ禍以前の生活を取り戻しつつあります。マスクを着用するといった対策を行いながら、残りの大学生活を楽しみたいと思います。

最後になりますが、日頃の大阪学生会館への温かいご支援に対して、この場をお借りして感謝申し上げます。今後ともよろしくお願ひ致します。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 島根県育英会 大阪学生会館

大阪府吹田市千里丘中58-10

TEL 06-6877-3058



ホームページ  
QRコード



会館の説明動画  
QRコード

こんにちは

# 近畿松江会です。

近畿地方で活動される市町村人会のご紹介です。  
第29回は、近畿松江会のご紹介です。



近畿松江会 会長 松本 耕司

近畿松江会は、平成の大合併を契機に2006（H18）年に発足したまだ歴史の新しい会で、この

「かけはし」での紹介は13年ぶり、2回目となります。

「活動内容」としては、設立以来、年次総会・懇親会の開催、年次会報の発行、ゴルフ大会の開催、更にはホーランエンヤ時などのふるさと訪問ツアー、松江市の児童養護施設への支援、松江市の京都・東寺の牡丹園修復や牡丹奉納のお手伝い、八束学園8年生の「大阪商人体験研修」の応援などを地道に続けてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス禍以来、状況は変し、ご多聞にもれず殆どの活動を止めざるをえない残念な結果となりました。ふるさと会のような人の集まりが、いかに人生の



總會・懇親会（於松江）（2019.5.17）



ふるさと訪問ツアー「ホーランエンヤ観覧」（2019.5.18）

潤滑剤として大事であったかを再認識もさせられました。

そして、この間に活動の再開に備えたいと、会員の絆を繋ぐための会報の発行や、オール松江の力を結集するための

各校同窓会などとの意見交換、また、リモートでも迅速に意思決定できるように会則の改訂も行ってきました。それもこれも、できれば三年ぶりに總會・懇親会を開催したいがゆえですが、状況は改善しつつあるとは言え、今しばらくは事態を慎重に見守っていききたいと考えているところです。

また、当会も会員の高齢化、会員数の減少が気になるようになりましたので、会員数の拡大のために知恵を出し、汗もかいて、会の継続、発展のために努力をしていきたい

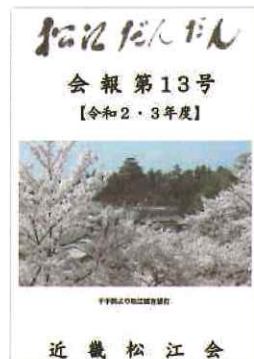


第18回 懇親ゴルフ大会（2022.6.3）



八束学園8年生の大阪商人体験研修の応援（於天神橋筋商店街）（2016.10.17）

いと考えています。どちらの会のお悩みも同じではないかと推察しますが、何かと助け合うことができればと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



会報「松江だんだん」13号（2022.4刊）



松江市が東寺に牡丹奉納（2019.10.22）  
（撮影2022春、木村恵吉氏）

## 【お問い合わせ先】

### 近畿松江会事務局

事務局長 竹谷 奨  
電話 090-3054-9159  
FAX 06-6777-2990  
メール：osktake@ff.ij4u.or.jp

# 島根県大阪事務所からのお知らせ

## イベント開催

瀬戸内国際芸術祭2022

芸術祭開催中に島根県隠岐の島の杉だけを使って、地域の自然を最大限に取り入れた長屋を建設します。

〔日程〕夏：8月5日(金)～

9月4日(日)

秋：9月29日(木)～

11月6日(日)

〔会場〕瀬戸内の各島々

## 各種イベント開催報告

各種イベントに多数ご来場いただき、有り難うございました。



OAPプラザさくらまつり  
観光物産展  
4月2日(土)・3日(日)・  
9日(土)・10日(日)



阪急オアシス  
キセヤ店産直市  
4月29日(金・祝)・30日(土)



みのおQモール中四国  
9県観光物産展  
5月28日(土)・29日(日)



空楽FESTA2022  
6月4日(土)  
大阪国際空港

## 「お知らせメール」登録者募集中!!

「島根県大阪事務所からのお知らせ」(メール配信)は、関西地方における島根県関係のイベント情報等をお届けするものです。随時ご登録いただいたメールアドレスにお届けします。近畿島根県人会会員の皆様の中で、未登録の方は、ぜひ「お知らせ」メールにご登録ください。



お知らせメール  
QRコード

## 近畿島根県人会事務局

## からのお知らせ

## 第60回故郷応援団開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防および拡散防止のため、開催を中止していましたが、3年ぶりに令和4年10月23日(日)10:30～14:00ホテルニユーオータニ大阪で開催を予定しています。

今回は隠岐地区に企画いただきます。

8月中旬にご案内をお送りしますのび、ぜひご参加ください!



第57回「故郷応援団～みんなで楽しむ近畿島根県人会～(懇親会)」の様子

## 近畿島根県人会 会員募集

お知り合いの方で当県人会にご興味がある方がおられましたら、事務局までご連絡ください。活動内容や入会方法等をご説明いたします。

\*市町村人會の方で、県人会未加入の方へぜひお声がけ願います。

## 近畿島根県人会

## ホームページのご案内

近畿島根県人会ホームページでは、近畿島根県人会の紹介、活動報告、機関紙、市町村人會、県人会、お知らせ、イベント情報、縁結び美味しまね認証店等を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



近畿島根県人会  
ホームページ  
QRコード

## 異動の連絡

住所・連絡先・勤務先等に変更がございましたら、近畿島根県人会「会報」巻末の「異動通知連絡票」をご提出ください。また、記載事項に誤り等がございましたら事務局までご連絡ください。

ご理解とご協力をお願いいたします。



# かけはし

この度、島根の歴史について執筆されておられる、島根県大阪事務所田中博一氏に、島根と近畿の歴史に関するコラムを連載いただきます。

## 近畿・島根歴史探訪コラム

### 〜隠岐の島の恵みと島流し〜

歴史小説や映画やTVドラマで人気の時代といえば、戦国時代、幕末、そして源平合戦あたりでしょうか。

今年の大河ドラマでは源平合戦からもう少し先まで進むみたいですね。そうすれば承久の乱、そして隠岐の島が出てくるかもしれません。

承久の乱といえば、後鳥羽上皇が時の執権北条義時追討の院宣を出して兵を挙げた事件です。最終的には幕府側の勝利に終わり、後鳥羽上皇が隠岐の島に島流しになることは皆さんご承知のとおりです。

さて、隠岐の島といえば天皇、上皇などの尊い方々が中央で政治的に敗北し遠流の処罰で流される土地、というイメージもあります。

実際に島流しに遭った方々について、簡単に確認してみます。

これまで歴代の天皇、上皇の例としては次のとおりです。

第七五代崇徳上皇。保元の乱での敗北により、讃岐国に配流された。

第八二代後鳥羽上皇。承久の変で敗れ、隠岐に配流された。

第八三代土御門天皇。承久の変では討幕計画に関与しなかったが、自ら申し



国賀海岸(魔天涯)

海拔257mの大絶壁。海蝕作用によって出来た崖では日本有数の高さを誇ります。

周辺一帯の放牧地では、牛馬がのんびり草を食む姿が見られます。

約7kmにわたって粗面玄武岩の海蝕崖や海蝕洞が続き、大山隠岐国立公園に指定されている隠岐最大の景勝地、国賀海岸にある代表的な断崖絶壁です。

出て土佐国に移った。第八四代順徳天皇承久の変の時、後鳥羽上皇と討幕を図り、敗れて佐渡に配流された。

第九六代後醍醐天皇鎌倉幕府倒幕計画が漏れ、隠岐に配流された。後に隠岐を脱出して京に戻り建武の新政を開始。

並べてみますと、五人中二人が隠岐に配流されています。意外と少ないと思いますが、土御門天皇と順徳天皇は後鳥羽上皇と同時に島流しに遭っています。承久の変の首謀者は後鳥羽上皇ですので、その他の二人を計算から外しますと、歴代天皇、上皇のなかで三人中二人が隠岐に配流されていることになりま

す。そう考えると確率は高いですね。  
当時の配流先としては、安房、常陸、伊豆、佐渡、土佐そして隠岐が遠流の地と定められています。その中でも天皇、上皇が隠岐に多く流されるには理由があるようです。  
一つは再び反乱を起こすかもしれない重大

な政治犯はしっかりと隔離、監視したいということ。隔離、監視という意味では佐渡も良さそうですが、それでも隠岐の島が優先で選ばれています。

もう一つは、反乱したとはいえ尊い方々なので生活に苦労されないように気を配ったこと、が挙げられるようです。

島の面積としては、佐渡島854平方キロメートルで国内順位3位。これに対して隠岐の島の島後は241平方キロメートルで国内順位は14位になります。江戸時代初期の石高は佐渡島3万石、隠岐の島1万2000石との記録もありますので、人口、生産量としては佐渡島が上回っています。

それでも隠岐の島が天皇の配流先に選ばれるのはそれ以上に島の豊かな恵みがあるからなのでしょう。  
現代でも隠岐の島の魅力となっている豊富



### いわがき

水深5m前後のきれいな海に棲み、今までは夏場に限られた量を素もぐりで取るだけでした。平成4年から全国で最も早く島根県の隠岐島で養殖に成功し、「隠岐のいわがき」ブランドとして売り出されています。



### 牛突き

隠岐の牛突きは、都での権力争いに敗れ、1221年に承久の乱に敗れて隠岐に御配流となった後鳥羽天皇が、小牛が角を突き合わせる姿を見て喜んだということから始まったといわれています。

でおいしい海産物は、

暖流の対馬

海流や島の

森から流れ

込む栄養分

によっても

たらされて

いますし、

元は火山島

の島前、島

後は様々な

奇岩、奇景で、観光客の目を楽しませています。



### 隠岐神社

祭神は、後鳥羽天皇で、昭和14年、天皇没後700年祭を記念して御火葬塚の隣接地に造営されました。

かつて、島流しという憂き目にあつた尊い方々を慰めていた隠岐の島の恵みを今でも体感できるといふのは不思議な気持ちになると共に、それを守り続けてきた島民の皆様には感謝しかありません。

### コラム筆者：田中博一氏のご紹介

島根県邑南町出身。農業普及員(花き専門)、島根県農業技術センター等を経て、令和三年四月から大阪事務所勤務。著書に『石見戦国史伝』『浜田城史伝』(ハーベスト出版)があり、島根の歴史をわかりやすく紹介している。